

## 第8回日中韓物流大臣会合 特別セッション 共同声明（仮訳）

2020年6月29日

### **会合の開催趣旨**

我々、日本、中国及び韓国の物流担当大臣は、COVID-19 のパンデミックに対して、この地域の安定的で円滑な物流システムを確保・維持するための3国間の協力を確認し、強化することを目的として、第8回日中韓物流大臣会合の特別セッションを2020年6月29日に開催した。

### **犠牲者への哀悼・物流従事者への感謝**

我々は、COVID-19 のパンデミックにより失われた多くの生命に深い哀悼を捧げ、影響を被った方々の苦痛にお見舞いを申し上げる。また、パンデミック下において、3国の国際・国内物流の現場の最前線で重要物資のサプライチェーン確保のために絶え間なく献身的な努力をされている方々に対し、心からの感謝と敬意を表する。

### **現状認識**

我々は、パンデミックの拡大とその影響が国際的な物流を妨げ、国際的なサプライチェーンと世界経済に重大なリスクをもたらしたことを認識する。

我々は、2019年12月24日に日本、中国及び韓国の首脳によって採択された、地域間の接続性を高め、交通・物流分野を含むインフラに関する協力を強化するとの決定の意義を認識するとともに、2006年に物流に関する協力の枠組みを立ち上げて以来の、シームレスで効率的かつ安全な物流システムの整備を促進するとの我々のコミットメントを再確認する。

我々は、パンデミックが将来にわたって頻発するリスクと物流が果たしていくべき役割の双方を考慮し、3国の物流をより一層強靱なものとするために、3国間の協力が一層強化されるべきとの立場を共有する。

したがって、ここに我々は以下の通り決議する。

### **国際物流政策における連携の強化**

- 1) COVID-19 その他の感染症のパンデミックに対して必要な情報を交換し、3国間の国際物流の強靱性と持続可能性を強化するため、物流大臣会合の枠組みに基づき、また、各国の物流関連業界の積極的な参加を得ながら、国際物流政策に関する3国間の協力と連携を強化する。

### **国内物流政策に関する経験の共有**

- 2) パンデミックによってもたらされる悪影響を克服し、将来パンデミックによって打撃を受けにくい地域の物流ネットワークを共同で構築するため、国内物流政策の観点においても、相互に経験やベストプラクティスを共有する取り組みをさらに強化する。

### **船員や航空機乗務員の移動の円滑化**

- 3) 国境を越える貨物の輸送が円滑に行われることを確保するために、3国の検疫措置を妨げない範囲で、船員や航空機乗務員など物流に不可欠な要員の移動を可能な限り円滑にする方策を模索するとともに、各国で実施されている輸送に関する検疫措置の情報を共有するためにあらゆる努力を行う。

### **国際機関における議論に関する連携**

- 4) 国際物流の業務の円滑な実施を確保するために輸送に対する不必要な制限を回避できる適切な水準の感染防止措置を実現することを目的として、既存の国際機関における現在進行中又は将来の議論において協力と連携を強化する努力を惜しまない。

### **神戸会合の開催**

我々は、上記1)、2)、3)及び4)の各項目の実現に向けた事務レベルでの議論を継続するとともに、可能な限り早い時機に神戸において第8回日中韓物流大臣会合を開催してその進捗を確認することにより、より統合され、効率的でかつ強靱な物流サービス及びネットワークの実現に向けた我々の協力と連携を揺るぎなく進めることとする。